



C-04

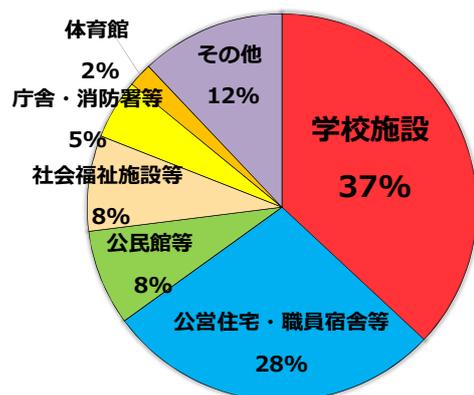
# 成熟社会における学校を中心にした街づくり

社会工学専攻 准教授 須藤 美音

## 概要

### ワークショップを通し公共施設の複合化や未来のまちに対する市民の意識醸成を図る

少子高齢化により、地方自治体において、公共施設の適正化が問題となっている。公共施設の中でも、総面積割合が約4割を占める「学校」の統合化、複合化が重点課題となっているが、学校は地域の中核であり、かつ幼少時代の思い出の場であるため、反対意見も多い。さらに、主な利用者である児童への意見収集が困難であり、現状学校の評価または将来の学校像は自治体に委ねられることが多い。そこで、学校利用者を対象にワークショップを行うことで、学校および住居地域の現状評価そして将来の学校の在り方を考える機会を設けた。



## 特長 (内容)

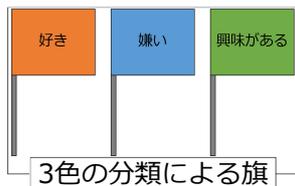
- 対象者：愛知県豊明市の三崎小学校の児童（小学校高学年16人）
- 内容1) 立体マップ作り：校区内の立体模型に「好き」・「嫌い」・「興味がある」場所の3分類の場所を理由とともに示し、その場所に3色で分けられた旗を刺す  
⇒・自分の住む街にどのような施設やどのような場所を利用するかを再認識する  
・街の良い点・悪い点を再認識し子育て世代の公共施設への密着度を理解する
- 内容2) 学校探検：学校内の好きな場所・嫌いな場所の写真を取り、理由を添えてポスター化する  
⇒・学校に対する愛着や不満がどのような場所で形成されているかを知る

## 実用化イメージと もたらされる喜び・驚き



内容1  
旗を刺している立体マップ

●実際に小学校区の縮尺模型を使うことで、直感的に場所のイメージしやすく、自分の住む街の全体像を把握することで施設の密着度を知ることができる



3色の分類による旗



内容2  
写真とコメント貼ったポスター

- 学校の好きな場所・嫌いな場所を「見える化」することで、どの場所が影響を与えているかがわかりやすい
- 児童たちの目線での学校内の魅力を見ることができる

## 今後の課題

- 街の好きな場所・嫌いな場所については、児童の意見だけではなく街に住む大人に対しても同様のワークショップを行うことで街の愛着や不満を立体マップ上に表すことができると考えられる

## 求める連携先とメッセージ

- 自治体：公共施設の再配置計画や複合化について先行事例や計画をお持ちの自治体など
- 企業：まちづくりについての技術や、公共施設の利用者などの公共データを駆使して新しいサービスを提供されている企業など
- まちづくりに対して新しい考えや知見をお持ちの方のご連絡をお待ちしています



須藤 美音 准教授

# 特長が発揮される仕組み

## 内容1) 立体マップづくり



校区内の好き・嫌い・興味がある場所のリスト化する様子



校区内の立体マップに好き・嫌いの旗を差し込んでいる様子

ワークショップを通して旗を刺すことで児童たちの街に対するイメージを表現し、他の人の意見を共有することで街の魅力を再発見できる

## 内容2) 学校探検



グループで決めた校内の好き・嫌いな場所の写真を撮る様子

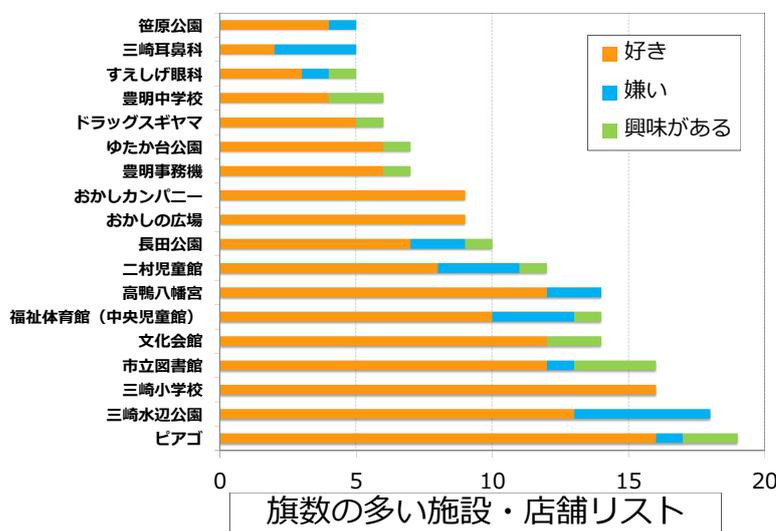


校内の好き・嫌いな場所をポスターにまとめる様子

校内の写真を実際に撮りに行くことで普段使う場所を改めて観察し、学校の地図にまとめることでひと目で広い学校の良い場所・悪い場所を見ることができる

# 技術の特長の根拠となる実験データ等

## ● 立体マップの旗分布の結果

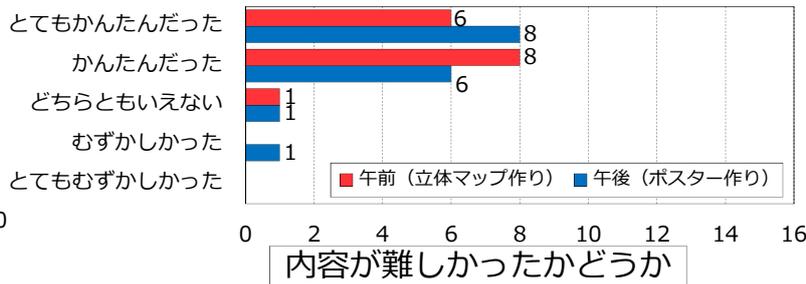
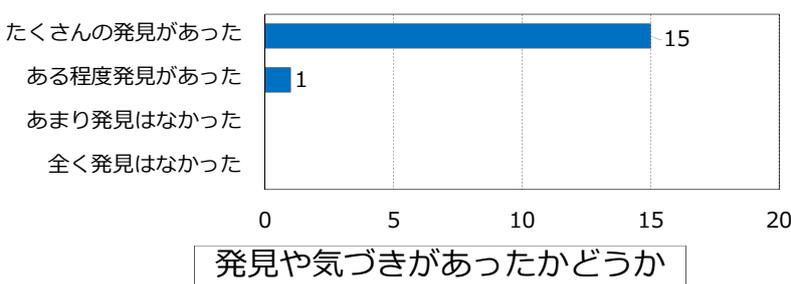


## ● ワークショップ後の参加者の感想

子どもがとても楽しそうに、取組む姿が印象に残りました。今後これを期に、何気なく見ているものにも注意を向けて好き、嫌！どこが？どうしたら良いかを考えるようになっていけたら町も、自分も、子供達も生活も環境も変わっていくのではないかなと思います。(保護者)

なんだか新しい三崎小を発見した気がしました。とても楽しかったです。(小5男子)

## ● ワークショップ後に行った参加者アンケートの結果



## 試作品の状況

提示可

## 研究フェーズ



【お問合せ】 名古屋工業大学 産学官金連携機構

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町字木市29番

TEL:052-735-5627 FAX:052-735-5542

E-mail: nitfair@adm.nitech.ac.jp URL: http://technofair.web.nitech.ac.jp/